

今週の活動から

厚木市郷土資料館は「あつぎの生き物に親しもう 夏休みだ！自然観察」を8月31日まで開催。栗山議員は花火の翌日三川合流地点で見つけた玉虫の保存方法を学



芸員さんに教えてもらいました。9月20日からは「バッタと秋の自然観察」が始まります。

(上：釘丸久子議員)

厚木市消防署の東側をゴーヤのグリーンカーテンが覆っています。右側は高さ20mの消防救助訓練施設。2人一組でロープで登ります。訓練で駆け登った足跡が上までいっぱい付いています。

(下：栗山香代子議員)

9月の法律相談 は
9月17日(水) 13時～
事前の連絡をお願いします。

財政力指数と市民サービスの関わりは

9月議会
始まる

9月1日(月)から始まった厚木市議会9月定例会。主に平成25年度決算を審議します。初日は26議案が提案され、質疑が行われました。

釘丸久子議員 単年度で見ると財政力指数が下がっているが、どう考えるか。平成26年度の不交付団体は県内では6団体に増えた。寒川町は不交付団体になったが、保育所の民営化をしたからだろう。基準財政需要額について市民サービスと絡めて考えるべき。

財務部長 単年度ではリーマンショックで落ち込んだが、3年平均で平成24年度は1.063、25年度は1.079と高くなっている。景気は底にきているかと考える。財政力指数は基準財政需要額と基準財政収入額(※)とのバランスによるものだ。厚木市は昭和38年から常に1を上回っている。

厚木市の財政力指数の推移
(平成21年度～25年度)

	単年度	3年平均
21年度	1.455	1.439
22	1.110	1.316
23	1.110	1.225
24	1.063	1.094
25	1.079	1.084

釘丸議員 厚木は公立の幼稚園も無く、かつては病院も無かった。必要な経費は、数値だけでなく市民サービスとのかかわりをみることが必要だ。

財務部長 歳入と歳出のバランスの問題。幼稚園、病院以外で、その時に必要なサービスをしている。

釘丸議員 お金をどう使うか。子どもの医療費や中学校給食が進んでいる。その観点での市政を望む。企業立地について昨年度は5事業所に適用。投下資本額が市の財政・景気はどう影響するか。条例で固定資産税の免除をしているが、25年度は何社でいくらか。雇用奨励金はどうだったか。

財務部長 25年度は2億700万円。5年で切れるので、3億8000万円の増収になった。施設整備や雇用に跳ね返り、市の元気に跳ね返っている。雇用奨励金は一人。産業振興部長 雇用は市全体として464名、市の奨励金は33名が26年度で支出。投下資本額は様々な面で影響があった。

釘丸議員 法人市民税の還付金が

9月議会 今後の予定

9月	8日(月)・9日(火)	一般質問
	11日(木)	総務企画常任委員会
	12日(金)	市民福祉常任委員会
	16日(火)	環境教育常任委員会
	17日(水)	都市経済常任委員会
	24日(水)	総務企画委(決算審査)
	25日(木)	市民福祉委(決算審査)
	26日(金)	環境教育委(決算審査)
	29日(月)	都市経済委(決算審査)
10月	2日(木)	議会運営委
	7日(火)	議会運営委・本会議

時間は午前9時から。

ぜひ、傍聴においでください。

発生する。本当に入った金額はいくらなのか、明らかにしたほうがいい。

財務部長 予定納税の制度上、会計は当該年度に計上。差引いくらを捉えて対応していきたい。今後の分析にも必要との認識を持っている。

※基準財政需要額 各自治体が標準的な行政を合理的水準で実施したと考えたときに必要と想定される「一般財源の額」。財政需要額とはいうが経費の全体を指すものではない。

基準財政収入額 各自治体の財政力を合理的に測定するために、地方交付税法第14条の規定により算定した額。自治体の標準的な税収入の一定割合により算定された額。